



島根労働局発表
令和元年6月18日

担 当	島根労働局職業安定部職業対策課		
	職業対策課長	内田 和久	
	障害者雇用担当官	上代 薫	
	TEL 0852-20-7021		

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数が過去最高を更新 －平成30年度 障害者の職業紹介状況等－

島根労働局（局長 田村 和美（たむら かずみ））は、平成30年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数は、過去最高であった平成29年度の979件を上回る1,000件（対前年度比2.1%増）となり、平成17年度以降14年連続で過去最高を更新しました。

また、就職率（新規求職申込件数に対する就職件数の割合）は61.9%（同3.7ポイント減）となりました。

ポ イ ン ト

- 新規求職申込件数は1,615件（前年度1,491件）で、対前年度比8.3%（124件）の増となり、また、就職件数は1,000件（前年度979件）で、対前年度比2.1%（21件）の増となった。

	新規求職申込件数				就職件数			
	30年度	29年度	対前年度	前年度比	30年度	29年度	対前年度	前年度比
身体障害者	316件	315件	1件増	0.3%増	185件	181件	4件増	2.2%増
知的障害者	307件	299件	8件増	2.7%増	191件	216件	25件減	11.6%減
精神障害者	848件	731件	117件増	16.0%増	541件	490件	51件増	10.4%増
その他の障害者※	144件	146件	2件減	1.37%減	83件	92件	9件減	9.8%減
合 計	1,615件	1,491件	124件増	8.3%増	1,000件	979件	21件増	2.1%増

- 産業別の就職件数は、多い順に、「医療、福祉」（265件、構成比26.5%）、「卸売業、小売業」（190件、同19.0%）、「製造業」（151件、同15.1%）などとなった。

- 職業別の就職件数は、多い順に、「運搬・清掃・包装等の職業」（259件、構成比25.9%）、「サービスの職業」（181件、同18.1%）、「事務的職業」（164件、同16.4%）などとなった。

※ 「その他の障害者」とは、発達障害者、難治性疾患患者、高次脳機能障害者等である。

平成 30 年度障害者の職業紹介状況等

島 根 労 働 局

1 新規求職申込件数

新規求職申込件数は、前年度比 8.3%増の 1,615 件（前年度 1,491 件）となりました。

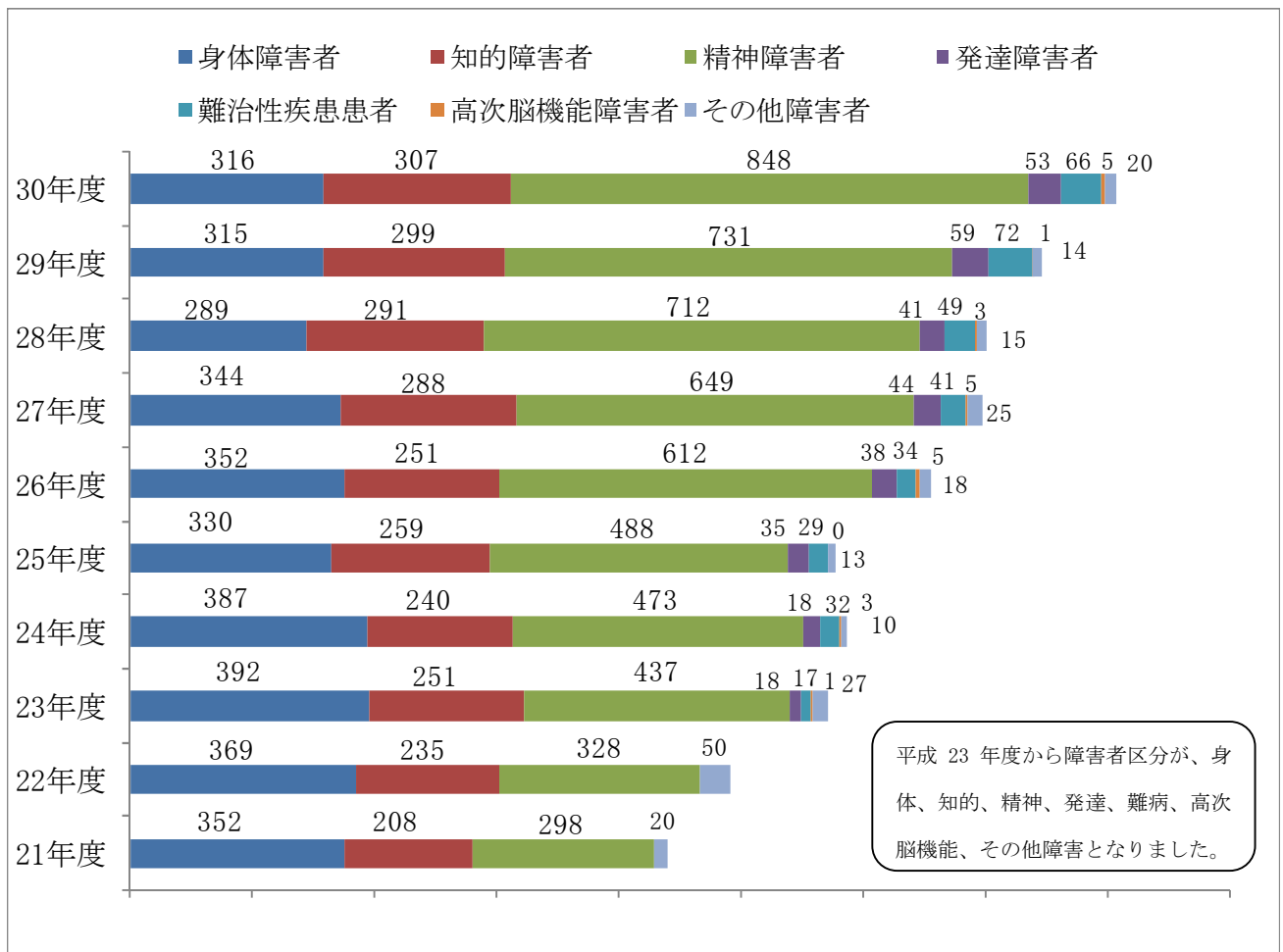
障害種別でみると、身体障害者は 0.3%増の 316 件（同 315 件）、知的障害者は 2.7%増の 307 件（同 299 件）、精神障害者は 16.0%増の 848 件（同 731 件）、発達障害者は 10.2%減の 53 件（同 59 件）、難治性疾患患者は 8.3%減の 66 件（同 72 件）、高次脳機能障害者は 400.0%増の 5 件（同 1 件）となっています。

【表 1】 新規求職申込件数の障害種別状況 (単位:件:%)

	新規 求職申込件数	障害種別						
		身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※
平成30年度	1,615	316	307	848	53	66	5	20
平成29年度	1,491	315	299	731	59	72	1	14
前年度比	8.3	0.3	2.7	16.0	▲ 10.2	▲ 8.3	400.0	42.9

※ 「その他障害者」とは、精神 3 疾患（統合失調症、そううつ病、てんかん）以外の精神疾患で精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていない者又は身体障害者障害程度等級が 7 級の者等である。【表 2】 同様。

【グラフ 1】 新規求職申込件数の障害種別状況 (単位:件)



2 就職件数

ハローワークを通じた障害者の就職件数は、前年度比 2.1%増の 1,000 件（前年度 979 件）となり、14 年連続の増加で過去最高を更新しました。

障害種別でみると、身体障害者は 185 件で前年度比 2.2%増(前年度 181 件)、知的障害者は 191 件で同 11.6%減(同 216 件)、精神障害者は 541 件で同 10.4%増(同 490 件)、発達障害者は 33 件で同 10.8%減(同 37 件)、難治性疾患患者は 36 件で同 23.4%減(同 47 件)となっています。

なかでも精神障害者は、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている精神障害者を実雇用率に算定できることとなった平成 18 年度以降、毎年増加しています。

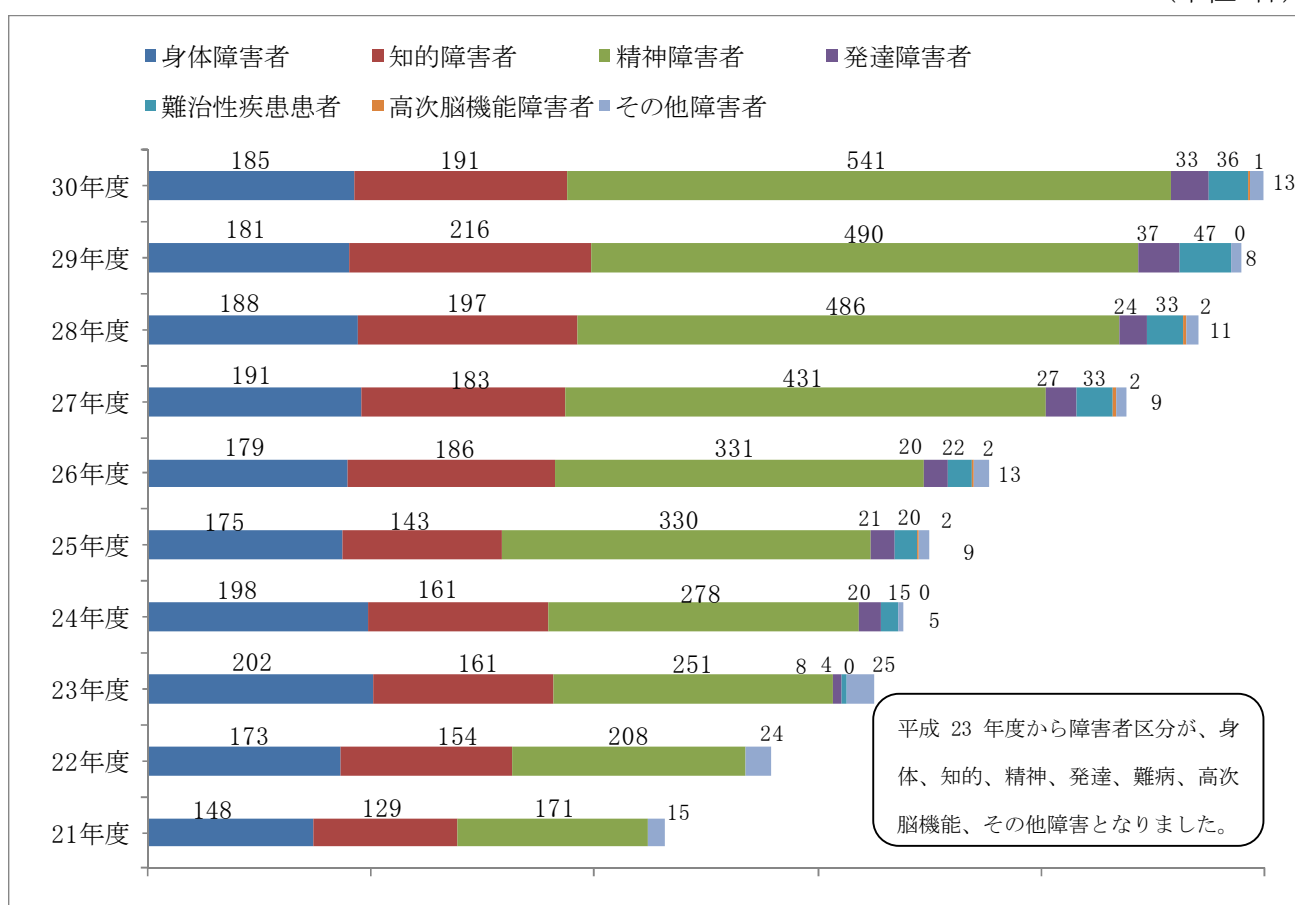
【表2】 就職件数の障害種別状況

(単位:件:%)

	就職件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※	
平成30年度	1,000	185	191	541	33	36	1	13
平成29年度	979	181	216	490	37	47	0	8
前年度比	2.1	2.2	▲ 11.6	10.4	▲ 10.8	▲ 23.4	-	62.5

【グラフ2】 就職件数の障害種別状況

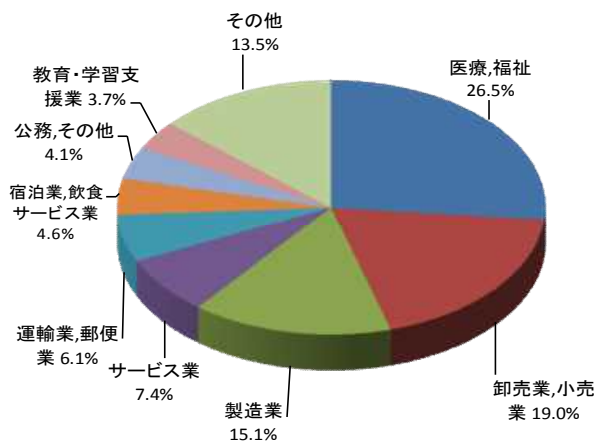
(単位:件)



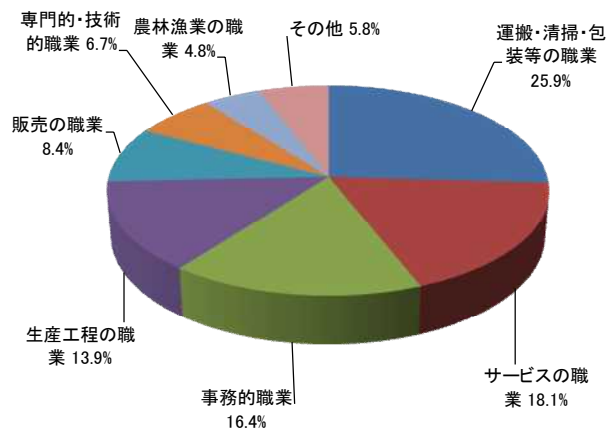
就職件数を産業別にみると、「医療,福祉」が最も多く 265 件 (全体の 26.5%)、次いで「卸売業,小売業」190 件 (19.0%)、「製造業」151 件 (15.1%)の順となっています。

職業別では、「運搬・清掃・包装等の職業」が最も多く 259 件(全体の 25.9%)、次いで「サービスの職業」181 件 (18.1%)「事務的職業」164 件 (16.4%)の順となっています。

【グラフ3】 産業別就職状況



【グラフ4】 職業別就職状況



3 解雇者数

平成 30 年度の解雇者数は 31 人となっており、前年より 24 人増加しました。解雇理由は事業廃止・縮小によるもの (30 人) などとなっています。

【表3】 解雇者の状況

(単位:所:%)

	①解雇届提出があった事業所数	②解雇者数		③解雇理由			④障害種別		
		うち派遣	事業廃止	事業縮小	その他	身体	知的	精神	
平成30年度	10	31	0	26	4	1	10	9	12
平成29年度	7	7	0	2	3	2	2	2	3
前年度比	42.9	342.9	-	1200.0	33.3	▲ 50.0	400.0	350.0	300.0

【グラフ5】 障害者解雇者数の推移

(単位:人)

